

第157期 中間報告書

(2022年3月1日から2022年8月31日まで)



松竹株式会社

証券コード9601

©2022「かがみの孤城」製作委員会

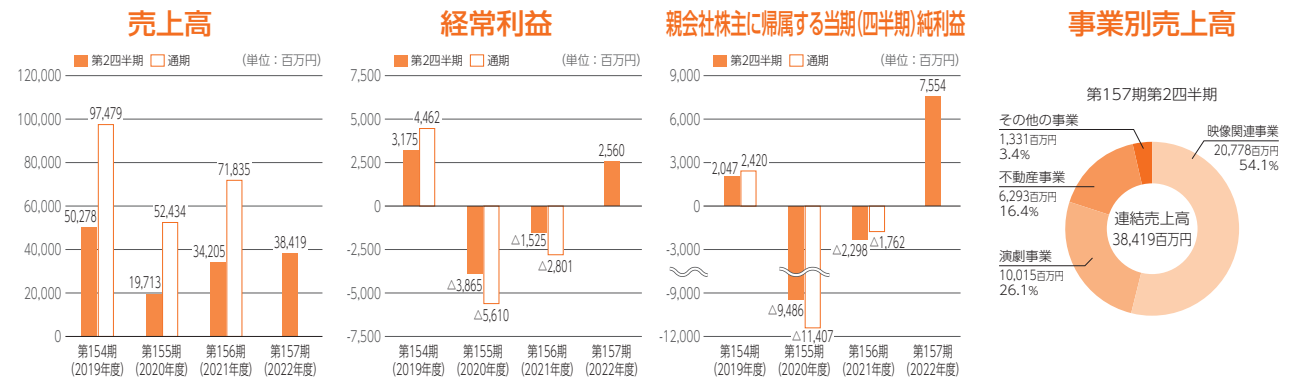
松竹株式会社

代表取締役社長 迫本 淳一



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社は第157期第2四半期連結累計期間（2022年3月1日から2022年8月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結決算ハイライト



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第157期の期首から適用しており、第157期に係る数値については、当該会計基準等を適用したものを記載しております。

当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、行動制限の緩和により個人消費に回復傾向が見られたものの、不透明なウクライナ情勢や急速に進行した円安に伴う物価の上昇等から依然として厳しい状況で推移しました。
映画業界は、長引くコロナ禍で映画館の来場者数の減少が続きましたが、5月に「トップガン マーヴェリック」、8月に「ONE PIECE FILM RED」等の大ヒット作もあり、徐々にではありますが回復傾向にある状況です。
演劇業界は、新型コロナウイルス感染者発生への対応を続けました。当期は公演関係者の感染等により中止を余儀なくされた公演を改めて上演する等、少しでもコロナ前の状況に戻すべく、感染防止策を徹底し公演を継続しました。
不動産業界は、新型コロナウイルス感染症が大きく影響し、働き方や住まいの在り方が激変しました。オフィス賃貸市場では、テレワークの普及により、大手企業でもオフィスの賃貸借契約を見直す動きが見られます。また、世界的な資材高騰による建設コスト増加が事業採算性を悪化させる等、業界の先行きに不透明感が増してきており、中長期での継続的な注視が必要となりました。
このような状況下、当社グループはより一層の効率化を図るとともに、本格的な事業再開に向けた環境整備に努めて参りました結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高

映像関連事業

38,419百万円（前年同期比112.3%）、営業損失168百万円（前年同期は営業損失1,961百万円）、経常利益2,560百万円（前年同期は経常損失1,525百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,554百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2,298百万円）となりました。
なお、当社の中間配当につきましては、通期業績に不透明要因が残る状況を踏まえ、誠に遺憾ながら見送らせていただきます。以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

【配給】邦画6本、洋画1本、アニメ7本、シネマ歌舞伎、METライブビューイング、松竹ブロードウェイシネマと、多様な作品を公開しました。延期となっていた「峠 最後のサムライ」を6月に公開、7月の「モエカレはオレンジ色」はスマッシュヒット、アニメでは6月の「機動戦士ガンダム クワクス・ドアン島の島」、7月の「ゆるキャン△」が興行収入10億円超えの大ヒットとなりました。
【興行】邦画では「シン・ウルトラマン」等のヒット作が公開されました。洋画では4月の「ファンタスティック・ビーストとダンブルドアの秘密」をはじめ、ハリウッド大作の供給も通常通り行われ、7月の「ジュラシック・ワールド／新たなる支配者」が60億円を超える大ヒットとなる等、夏興行をけん引しました。
【テレビ制作】地上波にてスペシャルドラマ「続 遙かなる山の呼び声」「再雇用警察官4」、連続ドラマ「全力！クリーナーズ」、BS放送にて時代劇「無用庵隠居修行6」、連続ドラマ「シネコンへ行こう!」、スペシャルドラマ「二十四の瞳」を制作しました。
【映像版權】《DVD・ブルーレイディスク販売》「CUBE 一度入ったら、最後」「テラー 人生の仕立て屋」「あまんちゅ! シリーズBlu-ray BOX (数量限定生産)」等の新作を販売し好調に推移しました。
《配信》定額制動画配信では「ハニーレモンソーダ」を独占配信、都度課金型動画配信では「クレッシェンド 音楽の架け橋」、「大怪獣のあとしまつ」を先行配信し大きな話題を集めました。
《権利販売》テレビ放映権販売では、BS松竹東急の開局に合わせて「幸福の黄色いハンカチ」「蒲田行進曲」等の名作22本を放送しました。海外ではアニメ作品の「ちみも」が大きく売上を伸ばしました。
【CS放送】松竹ブロードキャスト(株)は、近年拡大する動画配信サービスの影響もあり、多チャンネル放送市場は厳しい状況が続いておりますが、視聴料収入の減少を広告収入で補うことで収益を確保しました。
【BS放送】BS松竹東急(株)は、BS260chにて3月に無料放送局を開局し、オリジナル番組を含む多彩な番組を編成し、認知度向上に努めております。



【映画『ゆるキャン△』】
©あろ・芳文社／野外活動委員会



【モエカレはオレンジ色】
©2022 「モエカレはオレンジ色」製作委員会
©玉島ノン／講談社



2022年8月 歌舞伎座
「八月納涼歌舞伎」
©松竹株式会社

演劇事業

【歌舞伎座】感染防止策のガイドラインを遵守して三部制興行を執り行い、収益の改善に努めました。「六月大歌舞伎」までは順調に稼働しておりましたが、「七月大歌舞伎」では公演途中から全ての公演を中止しました。

【新橋演舞場】3月の「陰陽師 生成り姫」、4月と5月の「滝沢歌舞伎ZERO 2022」が好成績を収めました。8月の「流星の音色」は一部公演中止となりましたが、「超歌舞伎2022 Powered by NTT」とともに大変好評を博しました。

【大阪松竹座】4月の「毒薬と老嬢」、5月の「藤山寛美三十三回忌追善 喜劇特別公演」等が好評を博しました。8月の「関西ジャニーズJr. Space Journey! ～僕たちの軌跡～」は一部公演中止となりましたが収益を確保しました。

【南座】3月に「三月花形歌舞伎」、4月に「都をどり」、7月に「OSK日本歌劇団創立100周年記念公演 レビュー in Kyoto」[坂東玉三郎特別舞踊公演]を上演し、収益に貢献しました。

【その他の公演】3月のサンシャイン劇場での「行先不明」が好評を博し、4月の日生劇場ではミュージカル「ジョセフ・アンド・アメージング・テクニカラー・ドリームコート」が高収益を確保しました。

【巡業】来年度以降の公文協歌舞伎巡業再開に向け、7月に「松竹歌舞伎舞踊公演」を全国18か所で行い収益を確保しました。

【シネマ歌舞伎・METライブビューイング】シネマ歌舞伎では、片岡仁左衛門と坂東玉三郎が36年ぶりに同じ役役で上演し話題となった「桜姫東文章 上の巻／下の巻」を4月に連続公開し好評を博しました。METライブビューイングは、2021-22シーズン10作品がニューヨークで上演され、7月まで日本上映を行いました。

【配信】7月の歌舞伎座「風の谷のナウシカ」の公演中止に伴い、疑似生配信に切り替えて実施しました。舞台「毒薬と老嬢」は4月に配信を行い、一般演劇として初めての取り組みとなりました。毎月配信した「紀尾井町家話」等も高稼働となりました。



2022年5月 大阪松竹座
「藤山寛美三十三回忌追善 喜劇特別公演」
©松竹株式会社



「歌舞伎座タワー」
©松竹株式会社・株式会社歌舞伎座

不動産事業

不動産賃貸では、主要物件の高稼働により安定収益を確保し、新型コロナウイルス感染症の影響による賃料減額も最小限に留めることで、概ね計画通りの収益に貢献しました。また、中長期の事業戦略として、資産効率向上を目的に保有物件の見直しを行い、新木場倉庫の譲渡を行いました。将来の街づくりの一環となる東銀座のエリアマネジメントにおいては、一般社団法人と協議会を設立することで地域との連携を強化、コロナ禍でも可能なイベント活動や地域貢献にも注力しました。

その他の事業

各事業でのオンラインによる商品販売やコンテンツ配信の強化を図りつつ、人気シリーズ作品やコア層向けの商品開発・販売を主軸に展開しました。また、新規事業領域における事業展開については、コストを抑制しつつも、これまででない企画やコンテンツ開発に注力し、他業種企業との新しい取り組みや基盤づくりを進めました。

【プログラム・キャラクター商品】劇場プログラムおよびキャラクター商品は、「機動戦士ガンダム ククルス・ドアン」の島「モエカレはオレンジ色」「ファンタスティック・ビーストとダンブルドアの秘密」等の作品を中心に収益に貢献しました。

【イベント事業／オンライン配信】4月に幕張メッセにて超歌舞伎2022「永遠花誉功」を開催し、同時生配信視聴数は過去最高となりました。7月に薬師寺にて「薬師寺ひかり響夜 -inori-」新作歌舞伎舞踊公演を共同製作し同時生配信、8月に超歌舞伎初となる博多座・御園座・新橋演舞場各劇場公演「超歌舞伎2022 Powered by NTT」が話題となり、盛況となりました。

【権利ビジネス・その他】配信して好評を博した「META歌舞伎 Genji Memories」の分割したシーンを「META歌舞伎 NFT」として販売し大きな話題になりました。また、「松竹ベンチャーズ(株)」を設立し、“スタートアップ企業を対象とする投資事業”と“スタートアップ企業との共創事業”の2つの事業を核として自社事業の強化と新たな領域でのビジネスチャンスの創出を目指します。



超歌舞伎「永遠花誉功」

今後の見通し

今後のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症関連の制度見直し等により、感染症対策と経済活動の両立が進むことが期待されますが、感染状況の変化や物価上昇、海外情勢の動向により先行きの不透明な状況が続くものと見込まれます。当社グループを取り巻く経営環境についても、引き続き予断を許さない状況を注視する必要があります。

当社グループは、事態の推移を考量する中で事業を展開し、あらゆる世代のお客様に喜んでいただき、心の支えとなる映像・演劇のコンテンツを提供して参ります。

【映像関連事業】

映画製作・配給は、9月にアニメシリーズ最新作「劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVEスターリッシュツアーズ」、新時代のホラーエンターテインメント「“それ”がいる森」、10月に名作コミック原作の「耳をすませば」、11月に平野啓一郎原作のヒューマンミステリー「ある男」、12月に本屋大賞受賞の大ベストセラーで最高純度のファンタジーミステリー待望の劇場アニメ化「かがみの孤城」、2月に池井戸潤の傑作群像劇「シャイロックの子供たち」等を公開します。

【演劇事業】

歌舞伎座は、9月に「秀山祭九月大歌舞伎」、10月に「芸術祭十月大歌舞伎」といずれも3年ぶりの開催となる公演、11月「十一月吉例顔見世大歌舞伎」、12月「十二月大歌舞伎」では十三代目市川團十郎白猿襲名披露、八代目市川新之助初舞台を執り行います。

新橋演舞場は、9月と10月に「少年たち あの空を見上げて」、10月に「女の一生」、11月に「薔薇とサムライ2ー海賊女王の帰還ー」等を上演します。

大阪松竹座は、10月に「日本怪談歌舞伎（Jホラー歌舞伎）」と「サラリーマンナイトフィーバー」、11月と12月に「大阪環状線 天満



「ある男」
©2022「ある男」製作委員会

駅編」を上演します。

南座は、9月に「流星の音色」「超歌舞伎2022 Powered by NTT」、10月に「藤山寛美三十三回忌追善 喜劇特別公演」等、12月に「吉例顔見世興行」を上演します。

テンポラリー公演では、9月に日生劇場「夏の夜の夢」、10月と11月に「平成中村座公演」を行います。

シネマ歌舞伎では、12月に「三谷かぶき 月光露針路日本 風雲児たち」のBlu-rayが発売となります。METライブビューイングではアンコール上映を9月に開催し、2022-23新シーズンが11月のケルビーニ「メデア」に始まり10作品の公開を予定しております。

【不動産事業】

長らく新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえた綿密なテナントコミュニケーションにより、既存テナントとの良好な関係を構築するとともに、テナントの入れ替えにも柔軟に対応し、賃貸収益の確保に努めて参ります。また、長期的な収益向上策として当社拠点である東銀座のブランド価値を高め、将来の開発計画も見据えた街づくりの一環となるエリアマネジメントを推進し、地域の活性化や環境整備等に貢献する活動にも積極的に取り組んで参ります。

【その他の事業】

各事業におけるオンラインによる商品販売やコンテンツの配信を強化し、効率的な業務運用とコスト管理を徹底することにより収益力の改善に努めます。また、他業種企業との取り組みを強化し競争力を高め、既存事業の深掘りにとどまらず、新たなコンテンツの開発や海外マーケットも含めて事業領域の拡大にスピード感を持って取り組み、次世代の収益の柱構築を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



「シャイロックの子供たち」
©2023映画「シャイロックの子供たち」製作委員会



2022年10月 新橋演舞場
「女の一生」
©松竹株式会社

■ 連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 2022年8月31日現在	前期末 2022年2月28日現在
資産の部		
流動資産	33,913	34,396
固定資産	150,343	154,384
有形固定資産	95,776	101,304
無形固定資産	1,954	2,005
投資その他の資産	52,612	51,074
資産合計	184,257	188,781
負債の部		
流動負債	37,758	39,563
固定負債	58,549	68,384
負債合計	96,307	107,947
純資産の部		
株主資本	77,361	70,145
資本金	33,018	33,018
資本剰余金	30,157	30,136
利益剰余金	15,646	8,476
自己株式	△ 1,460	△ 1,485
その他の包括利益累計額	10,503	9,889
その他有価証券評価差額金	10,916	10,297
為替換算調整勘定	△ 63	△ 63
退職給付に係る調整累計額	△ 349	△ 344
非支配株主持分	84	798
純資産合計	87,949	80,833
負債・純資産合計	184,257	188,781

■ 連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 自 2022年3月 1日 至 2022年8月31日	前第2四半期累計期間 自 2021年3月 1日 至 2021年8月31日
売上高	38,419	34,205
売上原価	22,997	21,891
売上総利益	15,422	12,314
販売費及び一般管理費	15,590	14,275
営業損失(△)	△ 168	△ 1,961
営業外収益	3,450	1,094
営業外費用	721	657
経常利益又は経常損失(△)	2,560	△ 1,525
特別利益	7,322	127
特別損失	264	948
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	9,618	△ 2,346
法人税、住民税及び事業税	818	110
過年度法人税等	—	△ 169
法人税等調整額	1,575	84
法人税等合計	2,393	25
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	7,224	△ 2,372
非支配株主に帰属する 四半期純損失(△)	△ 330	△ 73
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	7,554	△ 2,298

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 自 2022年3月 1日 至 2022年8月31日	前第2四半期累計期間 自 2021年3月 1日 至 2021年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,870	2,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,807	△ 738
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,762	△ 1,895
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,915	△ 423
現金及び現金同等物の期首残高	16,531	18,017
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6	352
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 2,784	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,668	17,947

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第157期の期首から適用しており、第157期に係る数値については、当該会計基準等を適用したものを記載しております。

「かがみの孤城」

本屋大賞史上最多得票数！

150万人が涙した、感動のファンタジーミステリーがついに劇場アニメ化！



2018年に本屋大賞を受賞、その後も「ダ・ヴィンチBOOK OF THE YEAR 2021」(文庫部門)等、9冠もの賞に輝く、直木賞作家・辻村深月の傑作小説「かがみの孤城」。子どもから大人まで幅広い層の心を掴み、累計発行部数は150万部を突破。そんな熱烈な支持を集めるベストセラー小説が、満を持しての劇場アニメ化！

学校での行き場をなくし部屋に閉じこもっていた中学生・ところが、ある日突然鏡の中のお城へ招かれ、そこで出会った仲間たちとの出会いを通し成長していく物語。心躍るファンタジーでありながら、中学生たちのリアルな心情が丁寧に映し出され、随所に散りばめられた謎が怒涛のように明かされていくラストには、想像を超える感動が待ち受けています。



監督は「クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶモーレツ！オトナ帝国の逆襲」「河童のクゥと夏休み」「カラフル」等、繊細な心情描写で知られ、数々の映画賞に輝き国際的にも高い評価を得る原恵一。主人公こころ役には、原監督が「こころを見つけました」と絶賛し1,000人を超えるオーディションを勝ち抜いた新人女優・當真あみ。その他、注目の若手から日本を代表する俳優・声優陣まで豪華な顔ぶれが揃いました。

この冬、珠玉のスタッフ・キャストにより日本中に共感と感動を巻き起こす、青春映画の新たな傑作が誕生します。ぜひご期待ください。

公 開：2022年12月23日(金) 全国公開

原 作：辻村深月「かがみの孤城」(ポプラ社刊)

監 督：原 恵一

声の出演：當真あみ 北村匠海 吉柳咲良 板垣李光人 横溝菜帆 高山みなみ 梶裕貴／宮崎あおい

©2022「かがみの孤城」製作委員会

コロナ禍における演劇興行について

コロナ禍における歌舞伎興行は、公演関係者の罹患や体調不良による休演が生じて、演出の変更や代役により、可能な限り公演の維持を図りましたが、お客様や幕内の安心安全を優先し、やむを得ず上演中止となった公演も生じました。しかし、こうした中でも前進を目指し、第157期は「新・三国志 関羽篇」「風の谷のナウシカ」「弥次喜多流離譚」等、好評を博しているシリーズ物の上演、また「新選組」「荒川十太夫」「唐茄子屋」「日本怪談歌舞伎(Jホラー歌舞伎)」といった意欲的な新作歌舞伎を発表。更に、2020年より延期していましたが「十三代目市川團十郎白猿襲名披露興行」を11月と12月の歌舞伎座を皮切りに開始し、10月と11月の「平成中村座」、来年1月の「新春浅草歌舞伎」等、歌舞伎興行の活気を取り戻すべく準備を進めています。コロナ禍を一つの契機として、古典歌舞伎の継承を重んじつつも、以前の興行形態を踏襲するだけではなく、お客様の新しい生活様式を鑑みた新たな興行の在り方を模索し、来るべく俳優の世代交代とともに、歌舞伎界の更なる発展を目指しております。

また、歌舞伎以外の興行では「毒薬と老嬢」「ジョセフ・アンド・アメージング・テクニカラー・ドリームコート」「アンタッチャブル・ビューティー」等、感染症の影響で中止となっていた公演の改めての上演も実施いたしました。

世の中の行動制限も徐々に解除されてはいますが、お客様に劇場へ戻っていただくにはまだ時間を要するため、様々なニーズにお応えすべく、幅広いジャンルの作品を数多く製作いたしました。ジャニーズ公演や、劇団☆新感線との共同製作の公演に加えてミュージカル公演の割合を厚くしたのもその表れです。

今後は作品規模による上演期間や公演回数の見直し、地方での継続公演の実施等、効率的な収益基盤を構築することも目指して参ります。



©篠山紀信

当社の情報 (2022年8月31日現在)

会社の概要

商号 松竹株式会社
 設立 大正9年11月
 資本金 33,018,656,642円
 従業員数 587名

本社、支社および営業所
 本社 東京都中央区築地四丁目1番1号
 電話 03-5550-1534 (総務室)
 関西支社 (大阪)
 九州営業所 (福岡)

当社ホームページ
<https://www.shochiku.co.jp/>

役員

取締役会長	大谷 信義
代表取締役社長	大迫 淳一
代表取締役専務	武中 雅人
専務取締役	山根 成弘
専務取締役	高橋 敏也
常務取締役	岡崎 哲也
常務取締役	秋元 孝弘
常務取締役	井上 貴夫
社外取締役相談役	高田 和早
社外取締役	西村 幸苗
取締役	小島 卓人
取締役	船越 直啓
取締役	尾崎 成子
取締役	齊藤 久美
社外取締役	小黒 亜矢
社外取締役	黒田 康太
社外取締役	上村 達男
社外取締役	丸山 聡
常勤監査役	田島 賢一
常勤監査役	内藤 博行
社外監査役	立花 貞司
社外監査役	朝比奈 豊
社外監査役	井ノ上 正男

グループ会社一覧

連結子会社

- ・松竹衣裳 (株): 歌舞伎・演劇・映画・テレビ・舞踊・イベント等の衣裳、小道具の製作・賃貸
- ・(株)松竹サービスネットワーク: ビル・建物の清掃・設備管理・警備、駐車場運営、生花の販売、損害保険代理店業務
- ・松竹ショウビズスタジオ(株): 舞台・イベント等の音響・効果プラン、音源制作、オペレート業務、劇場等の音響室設計管理業務
- ・松竹芸能 (株): タレント・俳優等の養成・マネジメント、演劇・テレビドラマ・イベント等の企画・制作
- ・松竹ブロードキャスティング(株): 有料放送の衛星劇場・ホームドラマチャンネル運営、コミュニティサイト運営、映画製作
- ・(株)松竹撮影所: 映画・テレビ・CM等の企画・制作、スタジオ・セットのレンタル、ポストプロダクション業務
- ・(株)松竹映像センター: 映画・テレビ等の映像編集・音響制作、ポストプロダクション業務、映像作品のアーカイブ管理
- ・(株)松竹マルチプレックスシアターズ: 映画館の企画・開発・運営、パンフレット・キャラクター商品の販売、付随する飲食店等の営業
- ・松竹音楽出版 (株): 映画・テレビ等の音楽制作、著作権管理業務、音楽原盤の企画・制作・販売、イベントの企画・制作
- ・松竹ナビ (株): 宣伝・広告の企画・運営及び制作業務、イベント事業、タイアップ事業、WEB・SNS関連事業
- ・歌舞伎座舞台 (株): 歌舞伎座における大道具の製作・本番進行業務、各種舞台公演やイベントの製作・舞台運営
- ・(株)関西美術: 主に演劇小道具の製作・賃貸
- ・日本演劇衣裳 (株): 歌舞伎・舞踊衣裳の製作・賃貸
- ・(株)松竹エンタテインメント: 俳優・タレント・アーティスト等の育成・マネジメント、演劇・テレビドラマ・イベント等の企画・制作
- ・ミエクル (株): 先端技術を用いたコンテンツ制作、「代官山メタバーススタジオ」の運営

持分法適用会社

- ・(株)サンシャイン劇場: サンシャイン劇場の賃貸、演劇の興行
- ・(株)イヤホンガイド: 歌舞伎座・国立劇場・新橋演舞場・南座ほかでのイヤホン解説放送事業
- ・(株)歌舞伎座: 歌舞伎座その他の事務所・店舗の賃貸
- ・新橋演舞場 (株): 新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸
- ・インターローカルメディア(株): 委託放送事業、放送番組の制作及び販売、ソフトウェアの企画・開発・販売
- ・歌舞伎座サービス (株): 歌舞伎座での飲食事業、売店事業、不動産賃貸事業
- ・A e t a s (株): ゲーム全般に関する情報サイト・コミュニティ運営、ゲームに関するマーケティング
- ・BS松竹東急 (株): BSチャンネル「BS松竹東急」の運営、番組・映像製作、編成業務、動画配信事業
- ・BHD Media Joint Stock Company: ベトナムの映画館経営

株式の状況 (2022年8月31日現在)

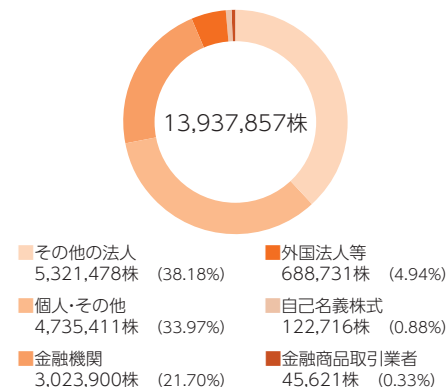
発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	13,937,857株 (自己株式122,716株を含んでおります。)
株主数	17,357名 (前事業年度末比624名増)

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	12,241百株	8.86%
株式会社歌舞伎座	4,884百株	3.54%
株式会社みずほ銀行	4,500百株	3.26%
株式会社三菱UFJ銀行	4,344百株	3.14%
セコム株式会社	3,700百株	2.68%
清水建設株式会社	3,690百株	2.67%
株式会社大林組	3,600百株	2.61%
大成建設株式会社	3,104百株	2.25%
株式会社TBSテレビ	3,085百株	2.23%
株式会社ミルックス	2,540百株	1.84%

(注) 持株比率は自己株式 (122,716株) を控除して計算しております。

[所有者別株式分布表]



株主優待基準 (2022年9月1日現在)

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	優待期間
毎年2月末日	毎年6月～同年11月
毎年8月末日	毎年12月～翌年5月

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待 ポイント付与基準】

所有株式数	6ヶ月優待ポイント数 (1ヶ月使用可能ポイント数)
100株以上	80ポイント (40ポイント)
200株以上	160ポイント (60ポイント)
300株以上	200ポイント (80ポイント)
500株以上	280ポイント (100ポイント)
800株以上	400ポイント (120ポイント)
1,000株以上	480ポイント (140ポイント)

【演劇優待 枚数基準】

所有株式数	6ヶ月優待枚数
300株以上	2枚
500株以上	4枚
800株以上	6枚
1,000株以上	8枚
1,500株以上	12枚
2,000株以上	16枚

株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
株主確定基準日	定時株主総会 2月末日 / 期末配当 2月末日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告掲載URL	https://www.shochiku.co.jp/company/ir/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。)

お知らせ

各種手続きについて

株主様の住所変更、配当金の口座振込ご指定その他各種手続きにつきまして、証券会社に口座を開設されている株主様は、原則当該証券会社に、証券会社に口座を開設されておらず特別口座にご所有株式が記録されている株主様は、上記の特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にそれぞれお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

●特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要があります。お手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。

株主総会資料の電子提供制度について

電子提供制度とは、会社法改正により創設された、株主総会資料をインターネットで提供することができる制度です。株主総会資料を書面で受領したい株主様は、株主総会の基準日までに、名簿管理人または口座を開設している証券会社を通じて「書面交付請求」を行うことで株主総会資料を書面で受領することができます。2023年開催の当社定時株主総会におきましては、「書面交付請求」の手続きの有無にかかわらず、株主様にお送りする書面の内容は皆様同一となりますので、「書面交付請求」を行っていただく必要はありません。

●三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電子提供制度専用ダイヤル：0120-696-505
受付時間：土・日・祝日等を除く 平日9:00~17:00



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

